坂ろうだより

第６号
埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園
令和７年１０月１日

小学部修学旅行
～日光での学びと冒険の2日間～

９月１０日から２日間、小学部の児童５名が日光方面へ修学旅行に出かけました。天候は不安定でしたが、活動中は雨にほとんど当たらず、予定通りの行程を楽しむことができました。１日目は足尾銅山や中禅寺湖、華厳の滝を見学。霧や雨に見舞われる場面もありましたが、自然の迫力を肌で感じる貴重な体験となりました。宿泊先の「日光きぬ川ホテル三日月」では、広々とした施設でゆったりと過ごし、夕食も大満足でした。２日目は日光江戸村でからくり屋敷に挑戦し、日光東照宮では三猿との対面に歓声が上がりました。最後はお土産選びとソフトクリームで締めくくり、笑顔いっぱいの旅となりました。事前学習の成果を随所で発揮し、児童たちの成長が感じられる充実した２日間でした。

ダンス練習（中学部）　９月１２日（金）

９月１２日(金)　総合的な学習の時間に中学部２・３年生合同でダンスを練習し、１年生に披露しました。手話パフォーマーの高木理華さんから振り付けの指導をしていただき、『大きな古時計』を踊りました。思い出を振り返っているときの元気に動く時計と最後の動かなくなっていく時計の違いがはっきりと表現されていました。おじいさんの時間が止まることを伝える時計や、天国へ去っていく様子を表す手話を考え、３つのパートに分かれてリズムよく立ち位置を変える姿は見事でした。１年生から大きな拍手をもらい、”感動しました。”と感想の言葉をもらいました。１１月には１年生がダンスをします。

サッカー教室（中・高等部）　９月３日（水）

９月３日（水）、浦和レッズハートフルクラブのコーチをお迎えし、サッカー教室が開催されました。プロの指導を受けながら、生徒たちは元気いっぱいにグラウンドを駆け回り、ボールを追いかけて汗を流しました。初めてサッカーに触れる児童も、コーチの優しい声かけに安心して取り組み、自然と笑顔があふれていました。パスやシュートの練習では、仲間と声をかけ合いながら協力する姿も見られ、スポーツを通じて絆を深める貴重な時間となりました。最後には、コーチからの温かいメッセージに耳を傾け、サッカーの楽しさだけでなく、挑戦する心の大切さも学ぶことができました。

坂戸市ブルーライトアップイベント　９月２２日（月）

９月２２日（月）、坂戸駅構内で坂戸市ブルーライトアップイベントが行われました。手話言語の国際デー（９／２３）・国際ろう者週間（９／２２～２８）に合わせた普及啓発イベントになります。本校からの参加は今年で３回目です。中学部７人、高等部３人、計１０人の生徒が参加し、高等部生徒会役員２人がそれぞれ、点灯式での挨拶と点灯を行いました。点灯式と記念撮影の後は、生徒それぞれが駅構内のいろいろなところに移動し、ティッシュ配布活動を１時間頑張りました。３回連続で参加している生徒は、慣れた手つきで、丁寧に会釈しながらティッシュをどんどん渡していきました。初めての生徒は、最初は配布方法にとまどったり、ティッシュを受け取ってもらえなかった時に心が折れそうになったりしながらも、最後は慣れてきて、笑顔でめげずにティッシュを渡し、「ありがとう」と手話で声をかけられるようになりました。手話を覚えたい、手話で話したい、という方からも声をかけていただき、手話での交流を楽しむことができました。

デフリンピックキャラバンカーがやって来た

校長　桑原　智子

デフリンピック応援イベント in 川越が、９月２３日（火）にりそなコエドテラスで開催されました。本校からは、手話カフェのホールスタッフとして高等部生徒が参加、寄宿舎太鼓サークルこばと会（中高寄宿舎生）が太鼓発表を行い、多くの観光客の注目を浴びました。９月２５日（木）は、小学部担当　小倉　涼　助教諭が　坂戸市　石川　清　市長を表敬訪問しました。デフリンピック女子空手組手に出場しますが、前回ブラジル大会で金メダルを獲得していますので、２連覇に期待がかかります。開会式では日本選手団の旗手を務めるため、ＮＨＫ、読売新聞、埼玉新聞の取材も入り、注目度がより一層高くなっています。デフリンピックキャラバンカーの埼玉県巡回は９月２２日～２７日、２６日（金）は、坂戸ろう学園がスタート地点、坂戸市役所、鶴ヶ島市役所と１３地点を巡ります。８時には生徒が集まり、エールを送り写真を撮りました。知名度が上がってきており、手話に対する理解啓発、デフスポーツの魅力も伝えています。デフリンピックを盛り上げるため、応援グッズの制作と「サインエール」の練習に力を注ぎたいと思います。